

タタラづくりに挑戦 長皿をつくろう

<用意するもの>

- ・粘土約700g
- ・砂袋
- ・タタラ板5mm 2枚
- ・のし棒
- ・布2枚
- ・針
- ・スポンジ
- ・型紙(14×26cmの紙)
- ・ストロー(太)4本

ポイント
ときおり粘土を裏返してたたくと粘土の粒子が均一になって、ゆがみが少ない。



1、布の上で粘土を手やのし棒でたたきのばす。次の工程で型紙より大きく伸ばすことを意識して。

ポイント
ときおり粘土を布からはがして裏返すと、さらによく伸びます。

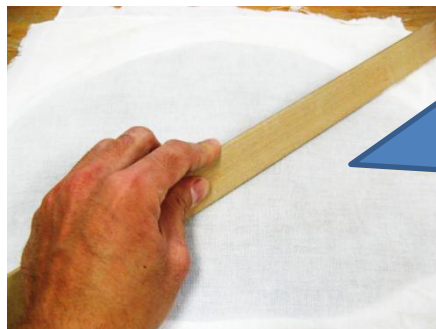


2、両側に5mmのタタラ板を置き、型紙よりも大きく伸ばす。

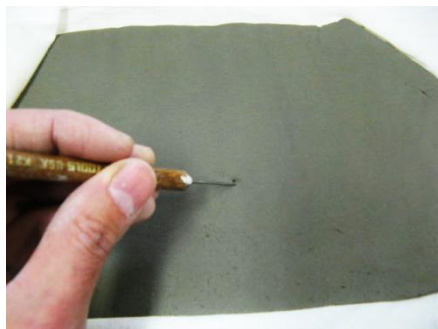


3、上に布をかぶせて砂袋でまんべんなくたたき。両面たたきます。土をたたきしめて、ゆがみを少なくします。

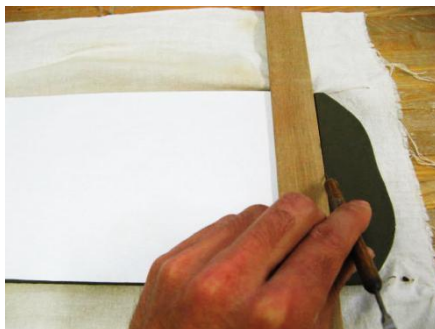
ポイント
ここからは粘土でできた板を特に大切に扱って。ちょっと曲げたりしてもクセがついてゆがみの原因に。



4、砂袋でデコボコになった表面をタタラ板を立ててならします。両面ならします。



5、上の布だけを取ります。下の布と粘土は密着した状態にしておきます。空気が入っているときは針で穴を開けて抜きましょう。



6、型紙に合わせて針でカットします。



7、スポンジを支点に布を持ち上げて、皿の縁を立ち上げていきます。直接手で縁を持ち上げないこと。



10、縁が落ちないようにストローを布と皿の間に差し込み、このまま乾燥させます。布とストローはある程度乾いて固まってから取り外します。